

# おひさま通信

2007年9月号 Vol.7



<白井農園のソーラーパネル(メガワットソーラー事業)>

## <目次>

市民出資募集開始のご案内  
メガワットソーラー事業のご紹介  
出資者の方からのご報告  
インターンシップ自己紹介

## <同封物>

おひさま通信Vol.7  
出資者ツアーのご案内(2枚)  
地球交響曲チラシ(2枚)  
飯田市美術館チラシ  
南信州飯田パンフレット



2007年9月

**おひさま進歩エネルギー有限公司**

長野県飯田市本町2-15 いうや3階

電話：0265-56-3711 FAX：0265-56-3712

<おひさま発電所のマスコットキャラクター「さんぼちゃん」は、一歩二歩三歩と着実に歩みます>



## 市民出資募集開始のご案内

11月1日から私たちの事業の2回目の市民出資の募集を開始します。

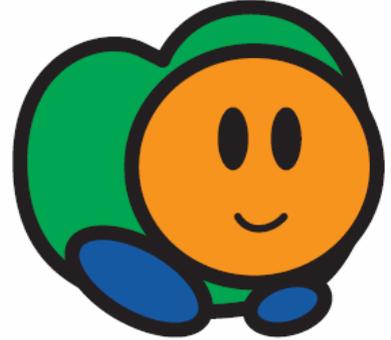
募集対象事業は、前回に引き続き自然エネルギー・省エネルギー事業です。前回の市民出資対象事業は飯田市内に限定し行いましたが、今回は地域を拡大し、南信州一帯を中心に行う予定であります。事業内容は主に太陽光発電・太陽熱利用・バイオマス利用・省エネルギーなどです。

私たちの事業の目玉であるおひさま発電所については、前回の市民出資対象事業の実績である飯田市内の保育園・幼稚園を中心に38カ所・合計208kWで設置した規模を遙かに超える内容で、環境省の補助事業メガワットソーラー共同利用モデル事業の補助を受け、南信州一帯で公共施設・民間施設に合計1000kW分の設置を行います。

今回同封郵送物にてご案内する出資者ツアーでは、飯田市主催の「生活と環境まつり」の中で、この市民出資募集の開始と太陽光発電事業（メガワットソーラー共同利用モデル事業）の開始セレモニーを企画しております。出資者の皆様には是非ご参加いただき、前回の市民出資事業が地域・規模を超えて拡大・発展することをともに祝えればと思っております。

詳細事業・出資内容につきましては、現在詳細資料を作成中です。完成しましたら、郵送にてお知らせしたいと思いますのでしばらくお待ちください。（図：9月27日付け信濃毎日新聞掲載広告）

おひさま発電所に  
出資しませんか？



11月から事業への出資を募集します！  
出資金は、太陽光・バイオマス・省エネなどの  
自然エネルギー事業に投資されます。  
お気軽にお問い合わせください。

**おひさま進歩エネルギー(有)**

長野県飯田市本町2-15 とうや3F TEL 0265-56-3711  
<http://www.ohisama-energy.co.jp/>



## おひさま発電所はどんどん広がります！

平成16年度に皆様のご出資を受けて飯田市内38カ所に設置した、市民共同のおひさま発電所（太陽光発電）は、太陽の光を受けて順調に発電を行っています。おひさま発電所は、市民が力をあわせて自然エネルギーを普及していく取り組みとして地域内外で注目され、平成18年度からは新たに環境省の「メガワットソーラー共同利用モデル事業」の補助対象事業に選定されました。この事業においては、20年度までの3年間で約120カ所、計1000kWのおひさま発電所を、飯田市を含む南信州地域を設置します。これにより、約160カ所のおひさま発電所が地域に生まれることとなります。（右写真：広がるおひさま発電所）



すでに18年度には44カ所を設置しました。飯田市以外にも南信州地域の14の町村、長野県の下伊那地方事務所の協力を得て保育園・幼稚園などの公共施設に設置している他、地球温暖化防止という目的に共感してプロジェクトに参加した民間の事業所にも数多く設置しています。また、これらの施設でも、園児・児童への環境学習劇や地域の方々との環境学習会など、普及啓発活動も行っています。加えて、おひさま発電所になった農産加工所や農家では、太陽光発電の電気を使って加工した柿や果物のジャム、ぶなしめじなど、この地域の特産品を「おひさま発電所ブランド」として売り出すことも計画されています。

皆様の出資を得てスタートしたおひさま発電所は、飯田市を飛び出して、より広い地域、そして全国に広がっていきます。

## 平成18年度設置 おひさま発電所一覧

施設名	設置場所	施設名	設置場所
鈴加町消防団第2分団詰所	飯田市	喬木村 中央保育園	下伊那郡喬木村
今宮福祉企業センター	飯田市	喬木村 北保育園	下伊那郡喬木村
鼎福祉企業センター	飯田市	喬木村 南保育園	下伊那郡喬木村
上郷福祉企業センター飯沼分場	飯田市	木下クリニック	飯田市
療育センターひまわり	飯田市	小池手造り農産加工所	飯田市
上村保育園	飯田市	下瀬しあわせ村	飯田市
和田保育園	飯田市	おげんきサルビアの郷	下伊那郡阿南町
アンバマイ館	飯田市	グループホームまめだかな	下伊那郡阿南町
福澤歯科医院	飯田市	イサカメガネ	飯田市
高田マンション	飯田市	有限会社べんてん	下伊那郡喬木村
(株)丸福久保田組	駒ヶ根市	オキナヤ	飯田市
野村建設住宅展示場	駒ヶ根市	いいだ自然エネルギーネット山法師	飯田市
野村建設	上伊那郡飯島町	牛牧直売所あんしん市場	下伊那郡高森町
飯田市公民館	飯田市	旬彩館	下伊那郡高森町
飯田市 松尾公民館	飯田市	信毎販売株式会社	飯田市
飯田市 上郷公民館	飯田市	飯田市 切石体育館	飯田市
飯田市中央図書館	飯田市	飯田市 山田体育館	飯田市
有限会社プロス	伊那市高遠	飯田市 天竜テニスコート	飯田市
白井農園	飯田市	飯田市 砂払浄水場	飯田市
ぼけっと・グループホーム	下伊那郡喬木村	飯田市 野底浄水場	飯田市
ゆいの里	飯田市	大澤保険事務所	下伊那郡豊丘村
喬木村 農村交流研修センター	下伊那郡喬木村	株式会社カリス	飯田市



## 出資者から寄せられた飯田紀行文

8月4, 5日に企画しておりました出資者ツアーですが、開催は都合により中止とさせていただきましたが、人形劇フェスタや飯田まつりを絡めて是非来飯したいという出資者の方々が3名、ツアーの日程通り来飯していただきました。

夫婦で来飯してくださったY.Oさんはこれまでの2回のツアーのどちらにも参加されており、飯田を大変気に入っていただいております。そのY.Oさんから訪問の感想をいただきましたのでご紹介します。

“飯田のファンになりました - 獅子舞やりんごんに感動 - ” Y.O (南信州おひさまファンド出資者)

「飯田っていい!」、「飯田、大好き」というのが、私の第一印象である。飯田の語源は「結い田」とも言われていると知り、飯田で感じていた、ほっとする安心感や懐かしさは、そういう人と人との絆を大切にすることこの地域が育み、伝えてくれた大切な贈り物だったのだと気づかされる。8月4, 5日、人形劇フェスタと飯田まつりの飯田を訪ね、また飯田ファンになって帰ってきた。若いときは、行って見たいな、行って楽しかった、まだいろんな他のところに行きたい、そんな旅行スタイル。(右写真:黒獅子の舞い)



いつからか、旅先で、ここは私には、どういう場所という感想を持つようになった。考えてのことではなく、ふっと皮膚感覚的、本能的に感じるセンサーのようで、飯田には、ふわぁっと自分の心が包まれた気がした。それはもちろん、飯田を訪れたときに、対応していただいた方々によるものも大きかったのだと思う。

「人形劇フェスタ」が一番のお目当てだったが、まつりの中でも「The獅子舞」には感動した。口をパクパク

させる大掛かりな黒獅子、初めて見て、まずはその大きさにびっくり。飾り付けや、獅子の中に隠されている大太鼓、中に入る人たちのいでたちが異なる多くの獅子。おひさま進歩の原社長から説明いただき獅子の頭に触らせていただいた。

獅子舞の動きは面白い。足がいっぱい。それが、前に、右に、スピードとリズムに緩急をつけ獅子頭は上下左右に自由自在に表情豊かに舞っている。チームプレーのすばらしさに目を奪われた。頭の鉢巻が落ちたとき、足元を転ばないかとドキッとしたが、さすがチームプレー。前の人から後ろの人へ、演技をしながらサッカーのように、足でパスされて鉢巻が見えなくなっていった。伝統を守り発展させることって、ステキだなと思った。また、守るべき伝統があるということは、何てシアワセなことなのかなとも思った。

夜はまた、飯田りんごんに驚かされた。元気いっぱいな連が続く。振りつけは、覚えられそうな親しみやすさを覚える。ジャンプはきつそうで、私には長時間は踊れそうにない。POLAの女性連が、涼やかな表情で微えんでいく。まつりに夢中で、化粧を忘れていた私の顔と大違いである。私の住むまちにも、もちろん夏祭りはあるが、ここ飯田の祭りにはかなわない。飯田まつりは私に元気を与えてくれた。

五日は、竹田扇之助系操り人形館を訪ねた。セミ時雨に誘われるように麻積学校への石段を登る。駐車場の右下に見える果樹園からは、桃の甘い香りが風で運ばれてくる。青い空の下に大きく山が連なる景色が美しい。ゆったりと深呼吸したくなる。飯田から、心の栄養をもらうばかりである。来春、満開に咲き誇る桜を思いながら、家路についた。



## インターンシップ生 自己紹介

はじめまして。9月からインターンシップ生としてお世話になっている沼田慶介と申します。現在、京都大学大学院地球環境学舎の修士1回生で、地球環境政策論分野という所に所属しています。

まだ飯田市に来たばかりで知らないことばかりですが、ホームページを見たり、お話を聞いたりしていると、この地域の祭りの多さに驚かされます。こちらには、激しくて活気のある祭りが多いようで京都との違いを今から楽しみにしています。(まずは七久里神社秋季祭典に行こうと考えています。)

大学の学部時代は農学部で家畜動物、特に肉牛の研究を行っていました。牛は夏場の暑さの影響(これを暑熱ストレスと呼びます)を受けやすい動物で、高温の状態が長く続くと呼吸が難しくなり、繁殖機能の低下を起こしてしまう場合があります。

私が行ったのは、夏・秋・冬と京丹波の牧場に行って飼育されている牛の呼吸数や体温を測定したり、尿を採取してその中の窒素の濃度や量の変化からストレスの影響を調べるというものです。また、環境中への窒素排出量の予測も同時に行いました。

動物だけではなく人を対象に入れたかったこと、エネルギー政策に興味があったことから修士論文では、地域レベルでのエネルギー政策についての研究を行う予定です。おひさま進歩エネルギーの行っている太陽光発電をはじめとして、環境問題に対して先進的な飯田市で研修を行えることを本当に楽しみにしています。



### 編集後記

9月4日のNHKのクリーンエネルギーについての特集はご覧になられたでしょうか？私どもの活動を番組で紹介していただきました。おかげさまで少しずつではありますが、新聞や雑誌にも取り上げられる機会が増えてきており、より多くの方に私たちの活動を知っていただく機会が増え、大変うれしく思っております。1ページ目の写真は、メガワットソーラー事業で飯田市内の臼井農園さんに設置させていただいたソーラーパネルです。出資者の皆様はご存知の方も多かもしれませんが、太陽光パネルはこのように屋根だけでなく、土手や壁面などにも設置できるものです。以前(1999～2003年)にドイツ政府によって行われていた「10万の屋根・太陽光発電プログラム」でも壁面への太陽光パネルの設置が奨励されていたという歴史もあります。まだまだ暑い日が続きますが、ご案内したツアーの頃には涼しくなり、収穫の時期を迎えていると思います。ツアーで出資者の皆様にお会いできることを楽しみにしています。(インターン 沼田慶介)